

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 1月 9日

公表: 令和 6年 2月 7日

事業所名 島原市通園施設あいあい

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点、目標など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			時間帯で入れ替わっているのでスペースは十分にある
	2	職員の配置数は適切である	2	2		基準人員は満たしているが余裕がないと感じる
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			職員間で話し合いを行い改善に努めている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			保護者の意向を把握し改善できるよう努めている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			ホームページ上で公表している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			4	現在、第三者評価は行っていない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			定期的に研修を行ったり、外部研修を積極的に受けるよう促している
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			保護者へ聞き取りを行い、課題やニーズを拾い上げ職員間で話し合い計画に反映している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			ひとり一人の情報を収集した情報を活用し、よりよい支援へつなげている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			担当者を中心に職員間で話し合っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			研修で習得した技能を取り入れている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			利用時間は平日と長期休暇も変わらない
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			保護者の希望や子どもの状況に合わせて支援している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			職員間で必ずミーティングを行い情報共有をしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			終了後反省点を話し合い、次回への対策や情報共有を行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			担当が必ず記録を行い支援へつなげている。また、保護者の変化なども記録するよう努めている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			半年に1回モニタリングを行い子どもの発達に合わせて保護者と相談しながら計画の見直しを行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		担当者が参加し情報交換、共有ができています	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		必要であれば担任と支援会議を行い情報共有を図っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	/	対象児童がいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			必要があれば情報提供、共有できるよう努めている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	/	/	/	対象児童がいない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			必要な場合は情報共有を行い、助言も受けている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			4	障害がない児童との交流はない。交流を嫌がる保護者もいる
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			医療機関受診や家庭での状況など常に保護者と伝えあっている
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4			対応や声掛けの仕方など、常に保護者へはアドバイスを心がけている
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			契約時に書面にて説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			保護者が希望されれば相談に応じ対応している。また、事業所で解決できない時は関係機関へつなげている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			保護者会を開催して保護者が連携できる様な場(お話し会)を提供したり、交流できるよう支援している
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			苦情があった場合はマニュアルに沿って対応するようにしている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			SNS上や事業所で掲示して情報を発信している
	35	個人情報に十分注意している	4			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			4	医療機関内に事業所があるため地域との交流は難しい

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		マニュアルを作成し閲覧できる様周知している。災害を想定して事前学習や避難訓練をしている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		研修会への参加や法人ないでの研修を行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		身体拘束を必要とする児童はいない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		利用前に保護者に聞き取り確認している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		